

令和4年度 地域活性化活動助成事業（下松市立豊井小学校）活動概要

- 1 活動名 とよい 遊・悠・優プロジェクト
～メモリアル・イヤーを迎えて～
- 2 連携団体 豊井小140周年記念事業実行委員会
(代表 加地幸秀)

3 記念事業の経緯

豊井小学校は、明治15年（1883年）に創設され、創立140周年を迎えた。そこで、これまでの足跡を振り返り祝うと共に、今後の発展のための記念事業を行うことを目的とし、学校運営協議会、育友会執行部等が中心となり実行委員会を立ち上げ、連携・協働しながら以下の事業を実施した。

4 主な活動内容

(1)140周年を祝う会の実施（2022年11月27日）

- ・豊井小学校児童の出し物 豊井小のはてな?・・・3・4年児童
豊井小学校のいいところ・・・5年児童
- ・お祝い演奏 山下工業所製作アルミ製チェロとバイオリンによる二重奏
- ・マジックショー + トークショー プロマジシャン 高重 翔 様
- ・豊井小学校思い出の写真展開催



<集合写真>



<お祝いコンサート>



<マジックショー>



<思い出の写真展>

- ・ドローン撮影および祝う会オープニング動画の作成

(2) 豊井今昔物語の編集（現在進行中）

- ・豊井の歴史や防災、人々の暮らし等を冊子にまとめる。
- ・総合的な学習の時間や社会科の学習に活用

(3) プラネタリウムの修繕

- ・昭和 37 年に竣工された科学館のプラネタリウム、機器の修理とドームスクリーンの張り替えを行った。



5 成果と課題

140周年を記念して、実行委員会を中心に様々な事業を行った。祝う会は地域・保護者・児童・教職員 150 名程度が集まり、豊井小らしく賑やかにそして和やかに実施することができた。コンサートやマジックショーなどもさることながら、一人ひとりの児童がそれぞれ役割をもってこの会に参加したことで、大変意義深い会となった。

豊井今昔物語は今年度末に完成予定である。執筆にあたっては、地域の歴史に詳しい学校支援ボランティアの方に御協力をいただいた。教員が異動してもこの冊子で豊井について学ぶことができる。来年度からの総合的な学習の時間や社会科の時間に活用するとともに、この冊子自体が地域連携カリキュラムの役割を果たしてくれると考える。

プラネタリウムは、内部の投影装置とスクリーンの改修を行うことができた。学校にある物としては、このプラネタリウムは全国的にも大変珍しい貴重な設備である。来年はプラネタリウムができて 100 年になるそうである。学習に活用すると共に、学校の宝として保存していく機運を醸成したい。

今年度の様々な取組によって、地域の素晴らしさを改めて感じると共につながりを深め広げることができた。今後も地域とともに歩む豊井小学校であり続けたい。